

2025 年 10 月 23 日
株式会社オンワードホールディングス
秘書・広報室 広報 Div.



～あなたのオンワードの服が、「希望をつなぐ毛布」に～ オンワードの回収衣料品から生産したリサイクル毛布 4,000 枚を カザフスタンへ寄贈

株式会社オンワードホールディングス（本社：東京都中央区 代表取締役社長：保元 道宣）は、当社の回収衣料品から生産したリサイクル毛布 4,000 枚を、日本赤十字社の協力のもと、カザフスタン赤新月社へ寄贈しました。10 月 21 日（火）にはカザフスタン・カラガンダ州にて、10 月 22 日（水）にはカザフスタン・アクモラ州にて、当社社員が現地の方々に直接リサイクル毛布を手渡し寄贈式を行いました。



当社では、「ヒトと地球(ホシ)に潤いと彩りを」というミッションステートメントに基づき、地球と共生する経営を推進しています。その一環として、ご愛用いただいた当社の衣料品を回収し、リユース・リサイクルを行う「オンワード・グリーン・キャンペーン」を 2009 年から実施しています。回収した衣料品の一部から生産したリサイクル毛布は、国内外の被災地や開発途上国などの支援先へ、2010 年から今回の寄贈を含めて累計 49,500 枚を寄贈しました。

第 15 回目の支援先であるカザフstanは、石油、天然ガス、ウランなどの豊富な天然資源に恵まれ、中央アジア諸国の中では最大の経済規模を有しています。一方で、急速な経済成長に伴い都市部や地方部での貧困率の差が拡大し、経済格差と社会格差が課題となっています。また、広大な平原地帯が広がる内陸国であるため、気候変動による砂漠化や水資源の不足、農業環境の悪化といった深刻な影響が懸念されている他、地震や洪水、土石流、地滑り、干ばつ等の自然災害リスクにさらされています。特に北部や東部の地域では冬季に極寒の気候となり、積雪も多く気温が氷点下 40 度を下回ることもあります。

カザフスタンの農村部や地方部では、都市部に比べて暖房設備が不十分であることが多いため、特に寒さが厳しい地域で生活する障がいを持つ子どもがいる世帯、多子世帯、低所得世帯にとって毛布は生命を守るために不可欠な物資となります。

この度当社が寄贈したリサイクル毛布 4,000 枚は、厳寒となる地域において子どもを抱える世帯などの支援を必要とする方々へ、カザフスタン赤新月社から配布されます。

「オンワード・グリーン・キャンペーン」公式サイト URL : https://www.onward.co.jp/green_campaign/

■ 10 月 21 日（火）、22 日（水）に行われた寄贈式の様子



■毛布を受け取った方のコメント



母 Lyudmila さん、息子 Kiril さん

毛布の配布を楽しみに待っていました。
寒い冬を乗り切るのに非常に助かります。
また、支援をしてもらえることで、一人じゃないと感じられてとても幸せです。
日本のすべての皆様に本当にありがとうとお礼を伝えたいです。



祖母 Lyudmila さん 孫 Dimyan さん

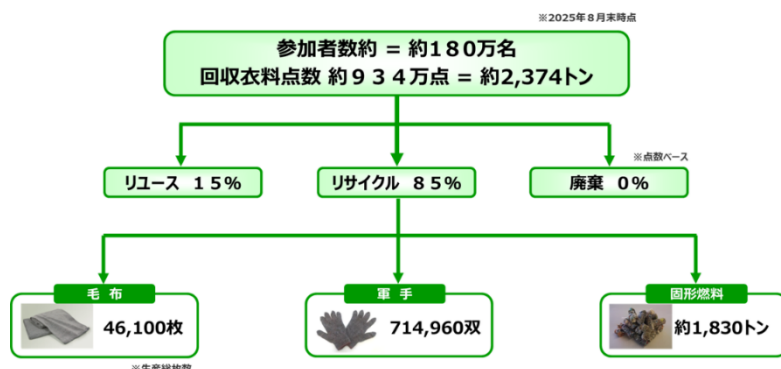
この地域の冬はとても寒く、外に出ることも難しいです。
今回いただいた毛布は寝具として使用します。
柔らかくてぐっすりと寝ることが出来そうでとても幸せです。
日本のすべての人々にありがとうと伝えたいです。

■「オンワード・グリーン・キャンペーン」について

オンワードグループのサステナブル経営推進の一環として、ご愛用いただいた自社の衣料品を回収し、リユース・リサイクルを通じて、衣料品循環システムの構築を目指す取り組みです。2009 年にスタートし、これまでの約 16 年間で累計約 180 万名のお客さまから約 934 万点の衣料品を回収しました。

回収した衣料品は、RPF（固形燃料）にリサイクルし代替エネルギーとして利用するほか、繊維製品の原料となるリサイクル糸を作り毛布や軍手を生産。毛布は、日本赤十字社の協力のもと、国内外の被災地や開発途上国への支援に活用しています。これまでに、東日本大震災被災地や中国・四川大地震被災地、生活困窮者の方々などへ累計 49,500 枚を寄贈しました。また、軍手は、災害支援、森林保全、啓蒙活動など様々な場面で配布しています。

さらに、まだ使用できる一部の衣料品は、環境コンセプトショップ「オンワード・リユースパーク」（東京・吉祥寺/EC サイト）にてチャリティー価格で提供し、その収益をサステナブル活動に役立てています。2023 年からは、地球と共生しながら、ファッションビジネスを元気にすることを目指す『Upcycle Action（アップサイクル・アクション）』をスタートしました。ファッション企業としてのクリエイション力を生かして、不要になった衣料品から新たな価値を生み出す取り組みです。



■リサイクル毛布の寄贈による支援活動実績

	【寄贈時期】	【寄贈先】	【寄贈対象】	【寄贈枚数】
第 1 回	2010 年 5 月	バングラデシュ	難民キャンプ	3,000 枚
第 2 回	2011 年 2 月	カザフスタン	難民キャンプ	3,300 枚
第 3 回	2011 年 9 月	日本	東日本大震災被災地	1,000 枚
第 4 回	2012 年 3 月	中国	四川大地震被災地	2,200 枚
第 5 回	2012 年 9 月	モンゴル	生活困窮者の方々	2,000 枚
第 6 回	2013 年 10 月	ネパール	生活困窮者の方々	4,000 枚
第 7 回	2014 年 10 月	ミャンマー	生活困窮者の方々	4,000 枚
第 8 回	2015 年 10 月 2016 年 4 月	ベトナム	生活困窮者の方々	4,000 枚
第 9 回	2016 年 2 月	ネパール	ネパール大地震被災地	2,000 枚
第 10 回	2017 年 10 月	インドネシア	生活困窮者の方々	4,000 枚
第 11 回	2018 年 11 月	インド	生活困窮者の方々	4,000 枚
第 12 回	2019 年 10 月	モンゴル	孤児院と 寄宿寮の子どもたち	4,000 枚
第 13 回	2023 年 11 月	ラオス	寄宿寮の子どもたちと 生活困窮者の方々	4,000 枚
第 14 回	2024 年 11 月	タジキスタン	生活困窮者の方々と 災害備蓄品	4,000 枚
第 15 回	2025 年 11 月	カザフスタン	生活困窮者の方々	4,000 枚
				累計 49,500 枚

※第 1 回～第 2 回は「UNHCR」を通じて寄贈。第 3 回以降から「日本赤十字社」を通じて寄贈。

■株式会社オンワードホールディングス 概要

1927 年に「桼山商店」として創業しました。現在は、「ファッション」「ウェルネス」「コーポレートデザイン」の 3 つの領域における事業を推進するとともに、海外においては、「ヨーロッパ」「アメリカ」「アジア」の 3 地域でビジネスを展開しています。

ミッションステートメントである「ヒトと地球（ホシ）に潤いと彩りを」ともと、“社員の多様な個性をいかしたお客さま中心の経営”により、地球と共生する“潤いと彩り”のある生活づくりに貢献する「生活文化創造企業」として前に進み続けます。

設立：1947 年(昭和 22 年) 9 月 4 日

代表者：代表取締役社長 保元 道宣

本社：〒103-8239 東京都中央区日本橋 3 丁目 10 番 5 号オンワードパークビルディング

URL：<https://www.onward-hd.co.jp/>